

本号の内容

- 1 ごあいさつ
- 2 教えてあいおいくん
- 3 あいおい日和
- 4 つれづれよこはま
- 5 日々雑感



当所キャラクター
あいおいくん

ごあいさつ



所長・司法書士
清水敏博

皆さま、こんにちは！

ようやく暑さも和らぎ、心地よい秋の訪れを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

当事務所主宰の異業種交流の場「こらぼ会」を2016年から2か月に1回のペースで開催しています。

発足のきっかけは、業界の垣根を越えて気軽に意見交換できる場が地域にないと感じたことでした。

どのように運営すればよいか手探りで始めた会も、気付けば

この9月で46回目。今では毎回、20名以上が参加され、新たなアイデアが飛び交う場へと成長しました。



士業や経営者、NPOやボランティア団体、教育関係者、さらには地域メディアなど、多様な方たちが集い、肩書や業種にとらわれず、フラットな立場で知識や経験を分かち合うことができる場となっています。

その結果、企業や組織の運営上の問題を解決するだけでなく、地域全体の課題に取り組むための協力関係も生まれており、まさに「こらぼ」の精神が日々実践されています。参加者にとって有益なコミュニティとなっていることが悦ばしい限りです。

また、こらぼ会は、次世代を育成するための大切な場でもあります。

若い世代がここでネットワークを広げ、視野を広げながら、地域に貢献できる力を育てている様子を見て、強くその役割を実感しています。

先日も、こらぼ会後の食事の席で、ある若い経営者の方から、地域づくりに関する熱い提案がありました。

「地元企業として、お客様の信頼に応えられるように丁寧な仕事をしてきたけれど、これからは、仕事以外の部分でも、何か地域に貢献してゆきたい」という考えで、多様なネットワークを活かし、地域の方々が楽しめるイベントを定期的で開催し、地域の未来に活力を生み出していこうというものでした。

その熱意ある姿に心を打たれ、若い世代の持つ力の大切さを改めて実感しました。

私も50歳を過ぎ、これまでの経験や知識を活かしながら、これからも若い世代をしっかりとサポートし、彼らが地域をより良い未来へ導いていけるよう、力を尽くしたいと考えてゆきたいです。秋の澄んだ空気を楽しみながら、皆さまが健やかに過ごされることを心より願っております。